



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2017.4.26(No.2910)
週報 No.37

基本を学び、地域と共に

第2560地区ガバナー／田中政春
会 長／川瀬康裕
会長エレクト／小出子恵出(クラブ奉仕A)
副 会 長／松永一義(クラブ奉仕B)
幹 事／関川 博
S A A／明田川賢一
会 計／浅野金治

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(～はshiftを押しながら“へ”のキーを
押してください)

■本日の出席会員数:57名中39名
■先々週出席率:81.82%

【先週のメイクアップ】

- [4.20] 三条東RCへ
 - ・丸山行彦さん、 斎藤弘文さん、
 - ・五十嵐晋三さん、菊池 渉さん
- [4.20] 加茂RCへ
 - ・加藤紋次郎さん
- [4.22] 柏崎東RC創立50周年記念式典へ
 - ・川瀬康裕さん、 関川 博さん
- [4.22] 米山奨学生オリエンテーション(新潟)へ
 - ・明田川賢一さん
- [4.22] ローターアクト会長幹事会議(三条)へ
 - ・吉井直樹さん
- [4.25] 三条北RCへ
 - ・菊池 渉さん、 阿部吉弘さん、
 - ・五十嵐昭一さん、成田秀雄さん、
 - ・熊倉昌平さん



2016～2017年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

川瀬康裕 会長



本日は江部さんの卓話楽しみにしております。後ほどよろしくお願い致します。

さてこの度のクラブ創立60周年記念式典が無事挙行されたことに感謝申し上げます。山田実行委員長はじめ、丸山、杉山副実行委員長、松永総務委員長、吉井式典・祝賀会委員長、菊池記念事業委員長、渡辺記念誌・広報委員長、そしてご協力いただいた各副委員長、委員のみなさま、そして全会員の皆様から感謝申し上げます。また当日司会をしていただいた明田川SAA、企画全体に関わった関川幹事にも感謝申し上げます。三条の周年式典はその後あちこちでお褒めの言葉をいただくことができ嬉しく思っております。

会員と夫人による拍手のお出迎え、気配りとフットワークの駐車場係りの機敏な対応、正装でのお出迎え、国歌独唱、絶妙なる会場設営と進行、気配り細やかな料理などクラブ全員の熱意を持って準備したことがこの成果につながったと思います。この度の式典では、アトラクションとして能の公演を取り入れましたが、これは山田実行委員長のアイデアであり、万難を排して実現いただき心より感謝いたします。また新竹城中の友好クラブへの対応もアイデアとサービス精神に満ちたものとなりました。今回の成果はひとえに山田実行委員長のリーダーシップによるものと感謝しております。不手際があったとすれば私の不徳によるものであります。本

当に皆様お疲れ様でした。5月10日に慰労会を開催いたす予定です。よろしくお願ひ申し上げます。

クラブ会長としての最大のイベントの60周年式典が終了しホッとしたところですが、私こと昨年の7月の山本ガバナーからノミニ候補者推薦依頼に始まり、三条クラブの候補者選任委員会の推薦を受け、10月21日の地区ガバナー指名委員会の決定を受けてガバナーノミニのお役目を拝命しております。3年先のことと思っておりましたがエレクトとして国内でのガバナー研修は今年9月から始まり、来年の1月の1週間のサンディエゴの研修、引き続き4大イベント開催と切れ目なく続く予定です。4大イベントの日程、場所、実行委員長は、来年PETS 3月24日(土)ジオワールドVIP杉山幸英さん、地区研修協議会 5月19日(土)地場産業振興センター荻根澤隆雄さん、地区大会親睦ゴルフ大会 10月5日(金)下田城カントリークラブ丸山行彦さん、地区大会 11月11日(日)地場産センター斎藤弘文さんとして皆様にお願ひして了解を得ております。

皆様が組閣を開始される折にはなにとぞ会員の皆様にはロータリー精神をもってご協力お願ひ致します。私のガバナー年度では、昨年、地区運営委員会から提案されクラブ会長会で承認された地区事務所を固定し、あらたに四大大会やガバナーサポートの拠点となるガバナー事務所及びガバナーエレクト事務所を形を変えて新たに開設するという、地区にとってエポックメイキングな取り組みがスタートします。準備には、田中ガバナーの諮問をうけて、三年度地区幹事、地区財務委員を作業グループとした「作業部会」が現状を調査ししかるべき提案を進めております。当クラブから30年目のガバナーとして選任されましたからには、分不相応なお役目ですが全力で全うしたいと願っております。何卒クラブの名誉のために、地区のためにロータリアンとしてご協力お願ひ申し上げます。

幹事報告

関川 博 幹事

◎田中ガバナー事務所より

「5月ロータリーレートのご案内」

5月1日より 1ドル=110円 (現行116円)

◎地区ローターアクト委員会より

「ローターアクト地区協議会のご案内」

日 時 6月10日(土)～11日(日)

場 所 メイワサンピア(新潟市)

◎本日予定しておりました「新理事・役員会」は、都合により5月9日(火)に変更となりました。出席対象の方には昨日FAXを送信致しました。ご確認お願ひ致します。

◎三条信用金庫本店の例会場が使用できない為、本日より6月21日(水)まで越前屋ホテルに変更となります。(5月10日は夜例会の為、ジオ・ワールドVIPです。)

ニコニコBOX

川瀬康裕会長

三条RC創立60周年式典ご協力ありがとうございました。感謝です。

江部さん、卓話よろしくお願ひいたします。

渋谷健一さん

内孫にひこ孫が誕生しました。これで内外を合せてひこ孫は11人となりました。

山田富義さん

皆様のご協力により、創立60周年事業、無事終了する事が出来ました。感謝、感謝申し上げます。

江部さん、卓話ありがとうございました。

杉山幸英さん

皆様のおかげで60周年記念式典を無事終える事が出来ました。感謝、感謝です。

関川 博さん

60周年記念式典では、実行委員会と各委員長のリーダーシップで大成功でした。会員皆様お疲れ様でした。各方面からお褒めいただきました。

矢吹さん、入会歓迎いたします。

明田川賢一さん

60周年記念事業お疲れ様でした。

斎藤弘文さん

60周年記念式典本当に立派でした。おめでとうございます。

荻根澤隆雄さん

創立60周年記念式典、祝賀会大変に感動致しました。杉山会員の心意気には感服致しました。皆様ご苦勞様でした。

渡辺勝利さん

60周年記念会、盛会おめでとうございました。

渡辺良一さん

60周年ご苦勞様でした。只今、60周年誌作成中です。20,000枚の写真と戦ってます。頑張ります。

吉井直樹さん

60周年式典では皆様に大変お世話になりました。ありがとうございます。

本日、江部さん宜しくお願ひします。

宮本信秋さん

60周年記念式典欠席となり申し訳ありませんでした。新店舗の引越しはおかげ様をもちまして無事に終わりました。三条の皆様にあられる店となるよう努めてまいります。今後ともよろしくお祈りいたします。

衛藤泰男さん

4月23日、三条RCゴルフ同好会に参加しました。何もかもうまく行かず、戴いた賞がブービー賞でした。パートナーの皆様ありがとうございました。

熊倉昌平さん

江部卓城会員の卓話を楽しみにしています。電力事業にご活躍をお祈りしております。

小越憲泰さん

60周年記念事業無事に終って良かったですね。お疲れ様でした。

五十嵐晋三さん

60周年大成功でした。

梨本次郎さん

先日の60周年、ご担当された責任者の皆様のご苦労に心から感謝致します。

また本日の江部さんの卓話も楽しみにしております。

樺山 仁さん

60周年記念事業も無事に終わりなによりです。委員の皆さん御苦労様でした。

小林吾郎さん

やっと暖かくなってきました。

江部さん、卓話楽しみです。

阿部吉弘さん

本日の例会場、近くて助かりました(笑)

高橋 司さん、 西山徳芳さん、 金子俊郎さん、
中條克俊さん、 佐野勝榮さん、 柳取崇之さん、
松永一義さん、 野水靖之さん、 伊藤寛一さん、
五十嵐博宣さん、 斎藤真澄さん、 船越良則さん、
若槻八十彦さん

60周年式典お疲れ様でした。

江部卓城会員、本日は卓話ありがとうございました。お話を楽しみにしております。

4月26日分 ￥ 68,000

今年度累計 ￥ 1,907,000

5月のお祝い



◎会員誕生祝

- 1日 成田秀雄さん
- 8日 菊池 渉さん
- 17日 松永一義さん
- 20日 落合孝夫さん
- 21日 若槻八十彦さん
- 22日 明田川賢一さん
- 24日 小林敬典さん
- 28日 吉井直樹さん

◎夫人誕生祝

- 8日 船越春江さん (良則さん)
- 15日 明田川みゆきさん (賢一さん)
- 16日 歸山 敬さん (肇さん)

◎結婚記念祝

- 1日 近藤雄介さん (律子さん)
- 2日 若槻八十彦さん (由美子さん)
- 3日 五十嵐博宣さん (美和さん)
- 5日 江部卓城さん (弥生さん)
- 5日 小越憲泰さん (百合子さん)
- 8日 佐野勝榮さん (美知子さん)
- 11日 伊藤寛一さん (美智子さん)
- 11日 米山智哉さん (永呂子さん)
- 12日 木村文夫さん (二三子さん)
- 20日 菊池 渉さん (まゆみさん)
- 24日 阿部吉弘さん (香苗さん)
- 27日 中條克俊さん (恵美さん)

◎100%出席賞

- 13年 杉山幸英さん

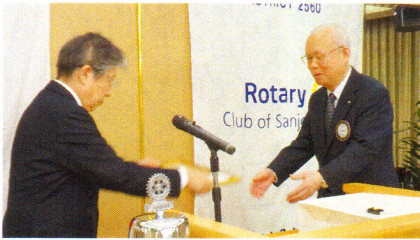
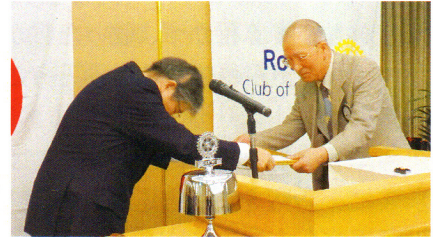
< 新会員紹介 >



氏名	矢吹 信太郎
会社名	東京海上日動火災保険(株)
役職名	課長
住所	三条市一ノ門2-12-20
家族構成	妻、一男一女
趣味	テニス

～ 創立60周年記念表彰 ～

創立60周年を記念して、永年在籍、歴代会長、連続出席の表彰を行いました。
クラブの発展にご尽力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。
(表彰の詳細は記念式典プログラム5、6ページに掲載しております。)



「卓話」

「電気の歴史と今?! -変革のとき-」

江部卓城 会員

東北電力 新潟県央営業所の江部でございます。本日は卓話の時間をいただき、誠にありがとうございますございました。

日ごろ、三条ロータリークラブの皆様から今の電気事業について

いろいろ聞かれることがあります。できるだけ皆様
が疑問に思われていることにお答えできればと考えて
しております。それでは、「電気の歴史と今?! -変革の
とき-」と題して、お話させていただきます。よろしく
お願いいたします。

これは明治末から大正初期の一ノ町通りとあります。
いわゆる大通りだと思われま。よく見ると道路の両脇に
電柱が立っており、その上のほうに腕木が何本も付いて
いるのが判ります。この腕木の上に電線が載っていたも
のと思われま。三条に電気がついたのは、明治44年のこ
ととあります。はじめは



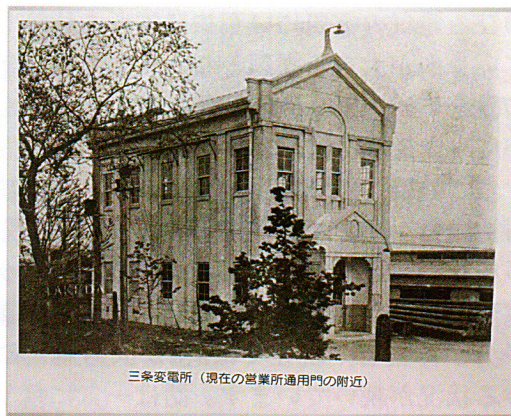
一ノ町通りの六番市
(三番市・四番市) 大正初期
正初期) 土町から五
ノ町までの大通りは、
二・七の市で賑わった。
当時は交通事故の心配
もなく、ゆっくり歩道
を歩かすことができました。

大通りの何軒というほどだったそうです。「全くお
祭り騒ぎで、今までのランプの明るさに比べて、何
という素晴らしい白い明かりであったことか。子供
たちはわいわい騒ぎながら一軒一軒のぞき歩いた」
そうです。

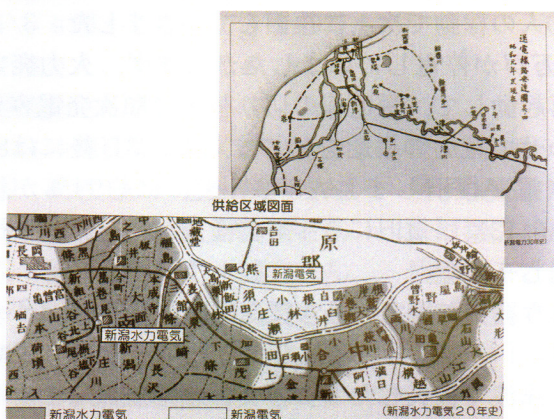
周辺の町村では、村松、五泉、新津が明治42年
に、加茂が三条と同じ明治44年、翌年の45年には見
附、今町、栃尾に電気がついたようです。

現在の旭町の東北電力が元からの場所で、明治44
年に新潟水力電気という会社の三条出張所として開
設されました。出張所が出来てまもなく東別院に通

じる井栗街道の新道がその前にできたとのことです。当時はイタチが化けてでたとか、追剥ぎにあったとかで相当な田舎であったようです。大正15年2月、現在の東北電力の営業所に変電所ができ、それが三条で初めての鉄筋建物だということです。その後どんどん鉄筋の建物ができていったようで、直後に西別院、二ノ町の第四銀行支店、それから一ノ町の郵便局の建物が出来たようです。



昭和初期の送電線の線路図です。当時、阿賀野川水系早出川の水力発電所から五泉、加茂、三条、見附と送電線が延びています。また別の送電線が新潟を中心として延びています。下の図をみていただきますと、信濃川を挟んで東側が新潟水力電気、燕など西側は新潟電気の営業区域となっていたようで、当時は激しい競争を繰り広げていたようです。



明治後期の産業の動力は人力と石油発動機が主流だったようです。明治の終わる頃三条町六ノ町鋳鍛工渡辺吉次郎が、電気動力設備による研磨作業を始めたようです。残念ながら、本格的に使われ出すのは、関東大震災後の特需に忙殺されたところからのことです。

また、見附は加茂とともに県内でも最も早く力織機化が進んだとのことです。当時の動力は石油発動機だったのですが、石油で織物を汚す欠点があったことから、電気による力織機化が急速に進んだとのことです。これも五泉、加茂、見附と送電線が延びてきていたことがその直接的な要因であるようです。

電気が使われだすと段々と停電が頻発しました。いわゆる電気の需要に供給が追いついていかない電力不足の状況と、送電設備等の脆弱性も相まって、停電が社会問題化してきます。

こうしたことから、電力不足を解消するために、一斉に電気が使われないように代わり番こに地区毎の停電をさせて乗り切ったようです。当時は当たり前のように輪番停電しており、電休日と称して週2日電気が来ない日があったようです。

その間、電力会社は何とか電気をつけるために発電所を作り、送電線を作り、変電所を作っていたわけですが。電気が暮らしを支え始めたことを電力マンはひしひしと感じて使命感に燃えて設備形成に励んだものと思われまます。これが電力マンのDNAとなったものと思えます。

先ほど見たとおり、三条は新潟水力電気、燕は新潟電気が営業区域としてお互いがしのぎを削っていましたが、同じところに新潟水力電気の配電線と新潟電気の配電線がある二重設備となり、非常に無駄な設備構成となってきました。全国的には電力会社の資本が統合されて合併が進展しました。昭和5年には、新潟水力電気と新潟電気が合併し、新潟電力となりました。

いよいよ我が東北電力の誕生であります。

1930年代は世界恐慌、昭和三陸大津波、冷害・凶作と地元経済界・庶民の暮らしを疲弊させる出来事が相次ぎました。そうした東北地方の疲弊に対する不満も背景として、昭和11年(1936年)、一部の青年将校による軍事クーデター2.26事件が勃発します。

2.26事件は失敗に終わりましたが、その結果、東北地方に対して政府としても何か手を打たなければならぬとの機運が盛り上がりました。そこで、2.26事件が起きたその年に、政府が出資して作ったのが、「東北興業株式会社」と「東北振興電力株式会社」です。

特に、東北振興電力は、定款に「東北地方の振興を図るため、同地方における電気事業を営むを以て目的とする」と明記されています。東北振興電力は設立から僅か5年で戦時体制のため統合されますが、その間、矢継ぎ早に14ヵ所の水力発電所を建設するとともに、青森～福島に至る南北送電網の整備も行いました。こうして整備された電力網による電力の安定供給体制を売り物に全国から数十社の企業誘致に成功しました。

殖産興業の旗振り役になるかに見えた東北振興電力も、東の間、設立から5年2ヶ月でその歴史に幕を引くこととなります。日中戦争がきっかけとなって、民間の大手電力会社を国策会社一社に統合する電力国家管理法を制定され、東北振興電力は1941年

に日本発送電株式会社に統合されました。

終戦後GHQの財閥解体により、日本発送電も解体されることとなりますが、なかなか案がまとまらず、難産の末、現在の9電力会社体制が1951年(昭和26年)5月に発足します。ここに現在の東北電力が誕生することになります。

当社の設立経緯を説明させていただきましたが、重要なことは東北振興電力が担った新潟を含む東北地方の殖産興業、地域振興という目的を東北電力が受けついでいるということです。

設立以来の当社の基本的考え方は、東北の繁栄なくして当社の発展なしですし、経営理念は、地域繁栄への奉仕、そして、2年前に現在の原田社長に交代した際には、「より、そう、ちから。」というコーポレートスローガンを打ち出し、お客さまにより沿う、地域に寄り沿うを合言葉に、「より、そう、ちから。」活動を行っています。地域の声に耳を傾け、いろいろな活動を行っていきたいと考えておりますので、御協力できるようなもので何かありましたら、ぜひお聞かせいただくと助かります。どうぞ、よろしく願いいたします。

さて、話を戻しますと、東北電力設立当初の会長は白洲次郎氏であります。吉田茂総理大臣の懐刀として日本国憲法制定などでGHQと堂々と渡り合い、威勢よく主張すべきは主張した人物として今でも人気があり、多くの本が出版されています。

ウィキペディアを引用しますのと、「白洲会長は当時東北地方で開発可能な水力の4分の3を有していた只見川の水利権をめぐる、古くから権利を主張して徹底抗戦していた東京電力に対して、当時の野田卯一建設大臣を説得して、水利権を東北電力に切り替えるという超法規的措置を引き出した。これによって東北電力繁栄の基礎が築かれた。」とあります。

また、このほかにも、白洲会長は、当時としては画期的な3つの新兵器を当社に導入しました。山間僻地で雪が多いことから、イギリス製のジープ「ランドローバー」を昭和27年から200台導入しました。イギリス留学経験のある白洲会長ならではの発想でないでしょうか？さらに2つ目は送電線の建設保守のために業界で初めてヘリコプターを導入しました。3つ目は社内の電話回線としてマイクロ波無線を導入しました。我々の社内は今でも独自回線として各事業所を無線でつないでいますので、NTT回線が使えなくなっても社内回線が使えることが多々あります。以上のように白洲会長はまさに「東北電力の繁栄の基礎」を築かれました。

ここで、ひとことお話したいことがあります。白洲次郎会長の奥様の正子さんですが、この方も日本

の美に関する随筆などを多く書かれた非常に有名な方ですが、もともとは、樺山愛輔伯爵の次女で、三条ロータリークラブの樺山さんのおばさんに当たられるとのこと。わが社と樺山さんとの間にこんな接点があったことに驚かされましたし、樺山さんに足を向けて寝れない思いであります。ここでご紹介させていただきました。

昭和26年に発足いたしました東北電力ですが、急速に伸びる電気の需要にいかんにかんて発電所を建設し、供給していくのが大きな課題となりました。26年設立当時47億kWhであった発電電力量は毎年ぐんぐんと伸びて平成17年には756億kWhと15倍にもなっています。この間、電気の供給をまかなうために水力から石油火力へ、オイルショック以降は原子力を含めた多様な電源を組み合わせられるエネルギーミックスの発電形態を志向してきましたが、東日本大震災以降原子力が停止し、現在では9割が火力発電に依存している状況が続いています。話は一気に飛びますが、次に東日本大震災の発生について話をさせていただきます。

ここからは、-今変革のとき-です。

2011年3月11日、東日本大震災が発生し、太平洋側の各地で津波による甚大な被害が発生しました。

被害がなかった各所から一斉に応援部隊が被災地に入り、一刻も早い電気の送電に昼夜を問わず全力で復旧にあたりました。延べ21万4千人、最大1日5400人の稼働で次々に復旧していきました。3/11は466万戸が停電していましたが、まず、火力発電所を再起動して、送電線の切り替えで順次発電容量にあわせて電力の供給を始めました。3日後には80%の停電が復旧しました。8日後には約94%が復旧し、6/18には復旧に着手可能な地域の停電はすべて

解消しました。こう言った災害のときに、電力マンのDNAが現れます。「一刻も早く電気をつけたい」という思いです。津波で被災したところでは宿泊施設などありません。車中泊や当社事業所の床に段ボールを引いて、毛布に包まり寝ました。私も女川原子力発電所で6月まで幾晩かそうした生活をしました。みんな一生懸命に復旧しました。

この東日本大震災が日本の電力事業に大きな環境変化をもたらしました。

それは、福島第一原子力発電所の事故を踏まえて、「世界で最も厳しいと言われる原子力規制基準の導入」です。2番目は「再生可能エネルギーの導入促進」で、3番目が「電力システム改革」です。ひとつひとつ詳しく説明させていただきます。

まず、新しい原子力規制基準の導入です。

新たな原子力規制基準は福島第一事故の2年後に

制定しましたが、まず、重大事故（シビアアクシデント）対策やテロへの対策を新たに規定しました。さらに、大規模な自然災害（地震、津波、火山、竜巻等）や火災への対応を今までより強化しています。この新規制基準をクリアできないと原子力発電所は再稼働できないことになりました。

原子力発電所の再稼働の手続きは以下のとおりです。東京電力の柏崎刈羽原子力発電所6、7号機は、平成25年9月に許認可申請がなされ、現在3年半かかっていますが、いまだ審査中です。仮に、許認可されたとしても、その後に安全対策工事が完了していることを確認する使用前検査や、知事や立地自治体の首長など地元の再稼働同意が必要となります。今までに16発電所26基が再稼働の申請を行っていますが、審査に合格したのは5発電所10基で、そのうち再稼働している原子力発電所は川内1、2号、高浜3、4号、伊方3号の5基だけで、極めて厳格な安全審査が行われています。

震災以降の大きな環境変化の2番目についてです。

震災以降、国は再生可能エネルギー、つまり太陽光、風力、水力、バイオマス、地熱の各発電について、積極的な導入をすすめるために、固定価格買取制度を震災翌年の2012年度から導入しました。例えば、太陽光発電であれば、国が定めた固定価格（初年度は40円/kWh）で電力会社が買取るかわりに、電力会社の売電価格（例えば20円/kWh）との差額を賦課金として電力使用者から徴収する制度です。

この制度ですと、再生可能エネルギーはどんどん普及は進みますが、普及が進むと電力会社が買取る価格と売電価格の差額の総額はどんどん膨らみ、賦課金の単価は上昇していきます。賦課金は皆さんから電気料金として徴収されております。

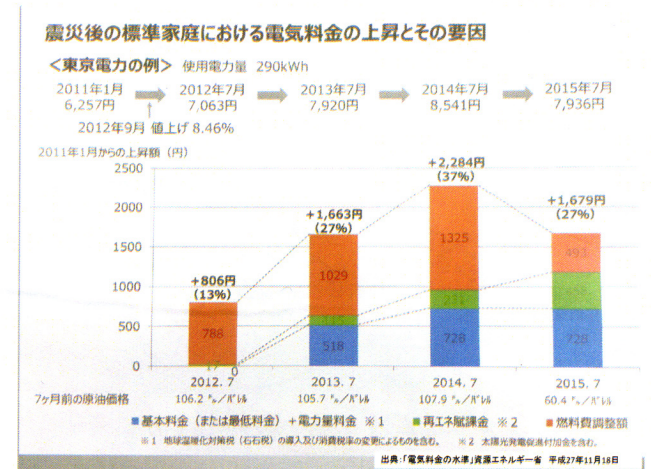
今年度は、kWh当たり一律2円64銭いただくことになっております。今後も再生可能エネルギーの普及にともない賦課金の単価は上昇していく可能性が極めて高いと思われます。

これは、当社の電気使用量をお知らせする検針票です。よく見て頂きますと「再エネ発電賦課金 幾ら幾ら」と書いてあります。また、同じように燃料費調整額も表示されています。

次に燃料費調整額について説明させていただきます。

航空運賃で燃油サーチャージというものを聞いたことがあると思います。航空機の燃料費が高騰した折に、追加で料金が加算されるものです。電気料金にも同様の制度が導入されています。発電に使う燃料費が経済情勢の変化により変動することから、毎月補正単価が変わります。2013年（平成25年）～2015年（平成27年）までは、kWh当たり1.5円程度値上げとなっていました。昨年秋にはkWh2.84円割引と

なっていました。ここ数年で最大でkWh4.5円もの値下げとなりました。これも見逃すことが出来ない電気料金の高騰要因だと言えます。



これは、経済産業省が作成した電気料金に関する資料です。

みなさんは東日本大震災以降原子力発電所が停止し、電力不足となり電気料金が値上がりしたとお思いではないでしょうか？

確かに燃料費が安い原子力発電所が停止して、その分の電力を燃料費が大幅にかかる火力発電で賄わなければならなくなったことから、電力会社は一斉に電気料金の値上げを申請しました。

東京電力の場合、2012年（平成24年）9月に平均8.46%の値上げをしました。しかし、その後も電気料金は値上がりし、グラフでは2014年（平成26年）7月には37%も値上がりしており、皆さんもこのころには電気代が高くなったと実感したのではないのでしょうか？この高騰の主な要因は、実は原子力発電が停止したための値上がりだけではなく、燃料価格の高騰と再エネ賦課金が値上がりしたことにもよります。意外に知られていませんが、今見たように電気料金は国に許認可を受けて改定されるほか、燃料価格の変動や再エネ賦課金などでも自動的に変動しています。

環境変化の3番目は電力システム改革です。

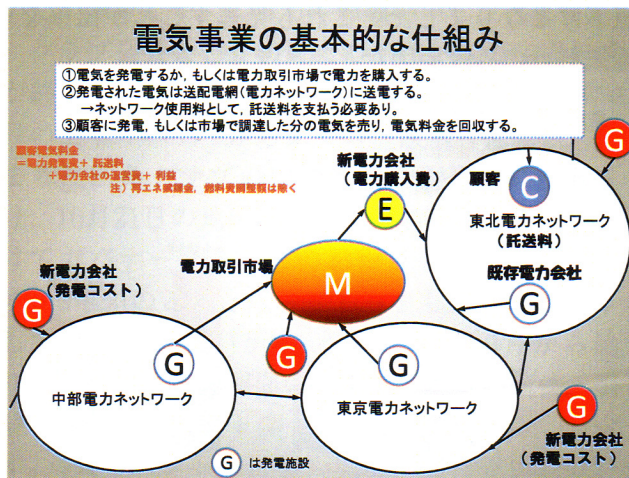
1951年（昭和26年）に現在の全国9電力会社体制が発足して以来、大きな変化がなく基本的に全国9電力会社体制のもと、ひとつの電力会社が発電、送電、配電、販売を行う垂直統合型の電気事業が行われてきましたが、①電力の安定供給、②電気料金の抑制、③事業者の事業機会および需要家の選択肢拡大を目的として、今その体制を大きく変え、国主導で新たな社会システムが構築されようとしています。

それが、電力システム改革です。すでに第一段階、第二段階は終了しております。

2020年（平成32年）には第三段階として送配電部門の法的分離が行われます。

このシートには、現在の電気事業の基本的な仕組み

みがマンガ的に書いてあります。



先ほどのシステム改革第一段階ですが、それ以前にも融通していた全国9電力会社の送電網を公平かつ自由に9電力会社以外の新電力が使えるように、送電網を管理する「電力広域的運営推進機関」を設立しました。これにより全国の電力会社の送電網を将来を見据え計画的に拡充することができ、送電線の容量が足りないことによる新電力の接続が出来ない事態を解消していく効果があります。

電力会社の送電網はいろいろな事業者が使えるようになりましたが、使用料である託送料を電力会社に支払わなければなりません。つまり、東北電力送電網(ネットワーク)に接続している顧客に中部電力の送電網(ネットワーク)に接続している新電力が電気を送り、電気料金をもらう場合、新電力は東北電力のネットワーク会社(ライセンス制)に託送料を支払い、中部電力のネットワークにAの顧客に送る分の電気を送電すれば良いということになります。

また、発電所を持たない新電力は、電力取引市場で電気の権利を買って、Aの電力会社に託送料を払って、Aの顧客に電気を売るということになります。

それぞれのネットワーク管理はライセンス制になっていて、国の審査により託送料がそれぞれ決まっています。需要密度の多い東京電力管内は安く、需要密度の薄い東北電力管内は高いです。高压電力でkWh4円程度、低压電力で9円前後となっています。我々東北電力もネットワーク使用料として新電力同様の託送料を支払っている計算になります。

電力システム改革の第三段階は、送配電部門の法的分離です。

いわゆる、先ほどのライセンス制になっているネットワーク部門を別会社にして、送配電網(ネットワーク)の中立性を一層高めることを狙いに、2020年(平成32年)に実施されることが決まっています。

わたしの営業所のなかも、2つの会社に分かれ、所長が2人になります。ひとは、電力販売の所長、もう一人はネットワーク管理で電力の安定供給を担う所長です。

ひとつの組織が2つになることで、さまざまな非効率な面も出てきていますが、今から、仕事のやり方を変更したり、本店支店などの組織を変更したりと平成32年に向けた諸準備でたいへんな状況になっていますが、これからも別会社となるネットワーク会社が引き続き電力の安定供給に努めてまいりますし、新たな販売部門の会社ではなお一層お客さまの電気使用にあった料金メニューを提案することにより、電気料金の低減につとめてまいります。

以上で「電気の世界と今?! - 変革のとき -」を終わりますが、最後に本日の卓話のまとめをさせていただきますと、

- ① 電気は、産業や人々の暮らしに大きな影響を与えてきた極めて重要なエネルギーです。今電力システム改革が進展していますが、その電力の安定供給は、社会システムとしてしっかりと担保していかなければならないものです。
- ② 電気料金は、燃料価格の変動や再生可能エネルギーの普及等により大きく変動していく可能性があります。一方、現在進展している電力システム改革により電気料金の低減も試みられている。
- ③ 東北電力は、電力システム改革が進展しネットワーク部門が別会社となっても、これからも電力の安定供給に不断に取り組んでいくことはかわりません。また、できるだけ安い電気料金の実現と地域社会の振興にも果敢に挑戦していきます。

- お客さまにより沿う、地域に寄り添う -

「より、そう、ちから。東北電力」

ご清聴ありがとうございました。

次週例会 5月17日 「地区研修・協議会報告」
小出子恵出 会長エレクト

次々週例会 5月24日 「会員卓話」 野水靖之 会員

